

27組	11班	メンバー	鈴木孝慈	中島哲平	岩田昌之
-----	-----	------	------	------	------

テーマ
なぜカエルには足があるのにオタマジャクシにはしっぽがあるのか？

はじめに

カエルには足があってしっぽがない。オタマジャクシにはしっぽがあって足がない人間のあかちゃんにはしっぽがない。親もまたない。我々取材班はこの事実に愕然とした。普通生物ならば……
……というわけで、何故なんだと夜も眠れず目の下のクマは大きくなるばかり、これでは命が危ないと思いこのテーマにしました。

仮説 カエルとおたまじゃくしは別の生き物なのではないか
しっぽが4つに分かれて前足と後ろ足になるのではないか

事前に調べた事

実験1	実際におたまじゃくしを飼ってみる				
実験結果					
	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13

日数が足りなくておたまじゃくしのまま大きくなっただけだった
仮説 が成立する可能性が大きいのではないか

実験2 オタマジャクシを解剖してみる

オタマジャクシのしっぽの中には足の元になるようなものは見られなかった
仮説 は絶望的かもしれない

文献による調査

ことわざ事典に「カエルの子はカエル」というものを発見、このことわざが事実を見て造られたものであるならば、カエルとおたまじゃくしが別の生き物であるという
仮説 が成立する可能性が非常に高い

期待を胸に沖縄へ

沖縄で確かめた事

沖縄カエルセンターで研究している人に話を伺ってくる
沖縄カエルセンターには沖縄でしか見られないガマガエルやサータアンダギーガエルが多く飼われていてそれらの研究を通じてハブが食べると死ぬカエルの開発がされていた。その所長である蛙腹白男さんの話では……
……中略……
……オタマジャクシが卵らしいものを生んだのでそれを試験管の中で培養したが卵が孵えることはなくどうやらただのフンではないかという結論に達したそうだ。私たちもその試験管を見せてもらったが……
……中略……
……また水槽の中に取りれたオタマジャクシのしっぽはないかと日々水槽の水を濾過してみたがそれらしいものはなかったようである……
……中略……
……手足の原料となりそうなシリコンやゴムをエサとして与えてみたが翌日には水槽に浮いているだけで大きな変化は見られなかった……
……僕たちは数々の実証的な実験の数々にさすがカエル研究所は違うなと感動を覚えた

終わりに

現在の可能性としては、オタマジャクシが卵を産まない、オタマジャクシを水槽に入れておき気がつくとかエルばかりになっている事から、オタマジャクシはカエルの子かどうかの確証はないが僕たちの仮説、はどうか成り立たないようだという結論に達した。僕たちが沖縄から帰ったら案の定、飼っていたオタマジャクシ達は皆カエルになっていた。結局僕たちの疑問は解けないままだったが、まだあきらめてはいない。
次は オタマジャクシの卵以外の生殖法はないのか？、カエルにおたまじゃくしのしっぽを移植するとどうなるか？といった点について仮説を立て検証していく予定だ。

僕たちの総合学習はまだ終わらない

例にとらわれる事なく、自分たちの思いが一番伝わると思うスタイルでレジュメを仕上げてください。印刷の都合上枠の中には納めてください

